

# Dappe



佐久間地区に生えていた孟宗竹

## 竹の活用について



### 【竹で炊飯】

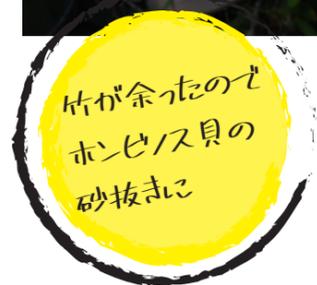
※使用した竹は所有者に許可を得て伐採しています。

- 一、竹の節を残し、のこぎりで切り出す
- 二、繊維に対して垂直に、のこぎりなどを使い上下二箇所切れ目を入れる
- 三、切れ目の線端から、→の写真のように繊維に沿ってナイフを入れる  
※竹の中の繊維はささくれやすく、刺さるので軍手等をするとうまい
- 四、くり抜いた蓋を外し、研いだ米を中に入れ、水を適量入れて30分ほど置く
- 五、弱火でゆっくりと炊き上げ、炊けたら少し蒸らす
- 六、実食！ほのかに竹の香りがして美味しい



9  
2020

地域おこし協力隊の鋸南ぐらし



### Dappe

発行元 鋸南町地域おこし協力隊  
 住所 AKARI(地域おこし協力隊拠点)  
 〒299-1902  
 千葉県安房郡鋸南町保田66-1  
 執筆 黒澤徹 清水多佳子 室井翼



### 竹と環境問題



外来植物の孟宗竹は繁殖力が異常に強く、既存の植生を侵食します。3ヶ月で10mほど成長するので、あっという間に他の木々を覆い、枯死させてしまいます。また、土壌保持力が低いため崖崩れが起きやすくなるなど、様々な害が発生することが現在問題視されているのです。ですが、竹は耐久性も高く、比較的加工しやすいので、使い方によって非常に良い材料になると思います。災害の多い昨今、竹利用の方法や、竹との付き合い方は身近に考えなければならぬことだと感じました。

中部地方から関東地方にかけて

# 猛威を振るう CSF (豚熱) ウィルス

こんにちは！地域おこし協力隊、有害鳥獣対策担当の黒澤です。

本日は中部地方から関東地方にかけて猛威を振るっているCSF (豚熱) ウィルスについて。かつて「豚コレラ」と呼ばれていたもので、CSFは豚熱の英語名「クラシカル・スワイン・フィーバー」の略です。「コレラ」は人に感染しますが、豚熱は人には感染しませんが、誤解を生まないためにも名称が変更されたようです。

この豚熱ウィルスが今年6月27日に、茨城県取手市で死亡した野生イノシシ(幼獣雄)から確認されました。本日時点、千葉県では豚熱ウィルスに感染した野生のイノシシは確認されていません。しかしながら、上記取手市で確認された個体は恐らく、既にPCR陽性の野生イノシシが確認されている利根川上流の埼玉県、群馬県から川を伝ってきたものと思われる。利根川から北側に上陸すれば茨城県取手市ですが、南側に上陸すれば千葉県我孫子市ですので、脅威が身近に迫っていることがよくわかります。(県内全ての養豚農家さんに対するCSFワクチンの

初回全頭接種を実施中。)

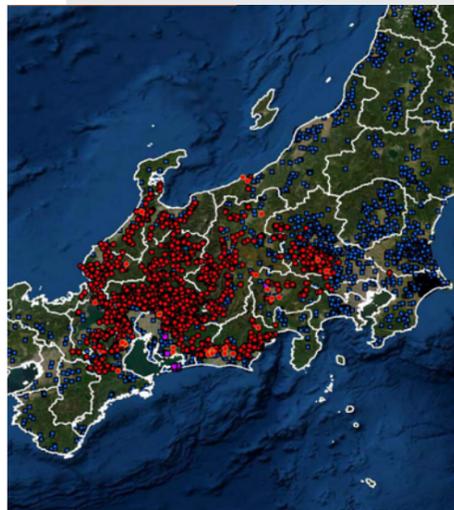
この茨城県でのウィルス感染確認をもって千葉県でも、千葉県全域において感染した野生イノシシの侵入の可能性が高くなったと判断し、野生イノシシの捕獲等の際に行う防疫措置のレベルをレベル1からレベル2(\*1)に引き上げました。

県北で確認されたことで一気に安房地域まで感染が広がることも考えにくいかもしれませんが、ただ、感染した野生イノシシが侵入する危険性よりも、鋸南町の場合は猟期に日本各地から訪れる狩猟者(ハンター)がウィルスを持ち込む危険性の方が高いのではという指摘もあります。CSFは強い伝染力と高い致死率が特徴の伝染病で、CSFが騒がれた当初も人が意図せずウィルスを拡散してしまつたこともありました。ウィルスを含む靴やタイヤについた土が運ばれることを避けなければなりません。そのためには消石灰等での消毒を含む防疫措置を、感染リスクの比較的高い外部の狩猟者に施しても行う必要があるかもしれません。現実的には秋の狩猟期間を迎え、

千葉県で狩猟登録をすれば県外の方も自由に鋸南町で捕獲活動が可能となります。「人・モノを介したウィルス拡散防止」対策が求められています。

たまたま個人的に中部地方でCSF感染が広がった現場を見る機会がありました。1~2年は野生イノシシの姿を見なくなったという集落もありました。しかし初期段階でCSF感染イノシシが発見された場所では、経口ワクチン散布の効果なのか再び生息数が回復し、農作物への被害が深刻な状況になっている集落もありました。この1~2年で弱体化した地域の捕獲体制が、生息数の増加に対応できず新たな課題が生じている地域も少なくありませんでした。地域性や状況に応じた対策が求められるところです。

CSF 感染野生イノシシ発見地点 (令和2年8月5日)



- PCR 陽性
- PCR 陽性 (更新)
- 発生農場
- 農場

\*1: レベル2に引き上げとなると具体的などんな措置が原則必要になるかという点、捕獲時に、使い捨てゴム手袋、防護服等(捕獲や止め刺し等の際に着用)(夏場はポリエプロン等の着用も可)、使い捨てマスク・保護メガネの着用が求められます。適宜、逆性石鹼、消石灰、消毒用アルコールなどの消毒薬を使用し、捕獲したイノシシの処理は埋設の場合は消石灰を決められた散布方法を用いることが求められています。詳細は「千葉県野生イノシシの捕獲等に関する防疫措置マニュアル」を参照下さい。



清水多佳子

クジラ肉を  
はじめた  
食べました

先月、港通り商店会の魚屋さんでクジラの肉を取材し、購入して家で食べてみました。

私、正直言いますと、「クジラの肉はおいしくない」という先入観がありました。

硬いし、あまり味がしない——。そんなイメージでした。

しかし、捌きたてのクジラ肉はこれまで私が味わったことのない柔らかい歯ごたえのものでした。

「これ、牛肉よりおいしいじゃん！」と思えるほどの感動でした。

鋸南町の勝山地区はかつて房総の捕鯨発祥の場所であり、役場の敷地内にも捕鯨機銃が残されています。

「クジラ」というキーワードで、鋸南町の歴史や文化をもっと掘り下げていきたいと考えています。

※クジラ肉は、外房でクジラを捕獲できたときにしか入手できないため、

タイミングがよくないと購入できません。

## 内房線から見た 東京湾で 町のPRを

先月号で、内房線から見た東京湾がとても美しく、鋸南町に移住してみたいと思った、ということを書きました。その書いたあとで思ったんです。「じゃあ、晴れた日に、内房線から見える東京湾を動画で撮影し、それをネットに公開してみたらどうだろう?」と。

私のツイッターに動画をアップしたところ、思った以上の反響がありました。「普段、車で通っているのに、気づかなかつた風景を見ることができました」とか、「コロナで帰省ができない中、美しい風

景をアップしてくれてありがとうございます。また、「東京湾がキラキラと光っていますね。内房線に乗ってみたいです」とコメントしてくれる人もいました。特に東京に住んでいると、「東京湾を美しい」と思えることって滅多にないんです。鋸南町は「東京から車で一時間弱で来れる」ということが利点ではありますが、少し時間がかかっても、電車の旅をもっとPRしてみてもいいのかもしれない。自分がいいと思ったことをどんどん、情報発信していくことはこれからも続けていきたいと思えます。



地域おこし協力隊  
観光担当 清水多佳子  
Twitter